

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

平成 30 年 7 月 25 日

（宛先）

滋賀県知事



提出者

住所 （法人にあつては、主たる事務所の所在地）

大津市京町四丁目1-1

氏名 （法人にあつては、名称および代表者の氏名）

滋賀県知事 三日月 大造

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第3項・~~第20条第4項~~・~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあつては、名称および代表者の氏名）	滋賀県知事 三日月 大造
事業者の住所 （法人にあつては、主たる事務所の所在地）	大津市京町四丁目1-1

1 事業所の概要

事業所の名称	滋賀県 湖南中部浄化センター					
事業所の所在地	草津市矢橋町字帛帆2108					
主たる事業	細分類番号	3	6	3	1	下水道処理施設維持管理業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キログラム以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

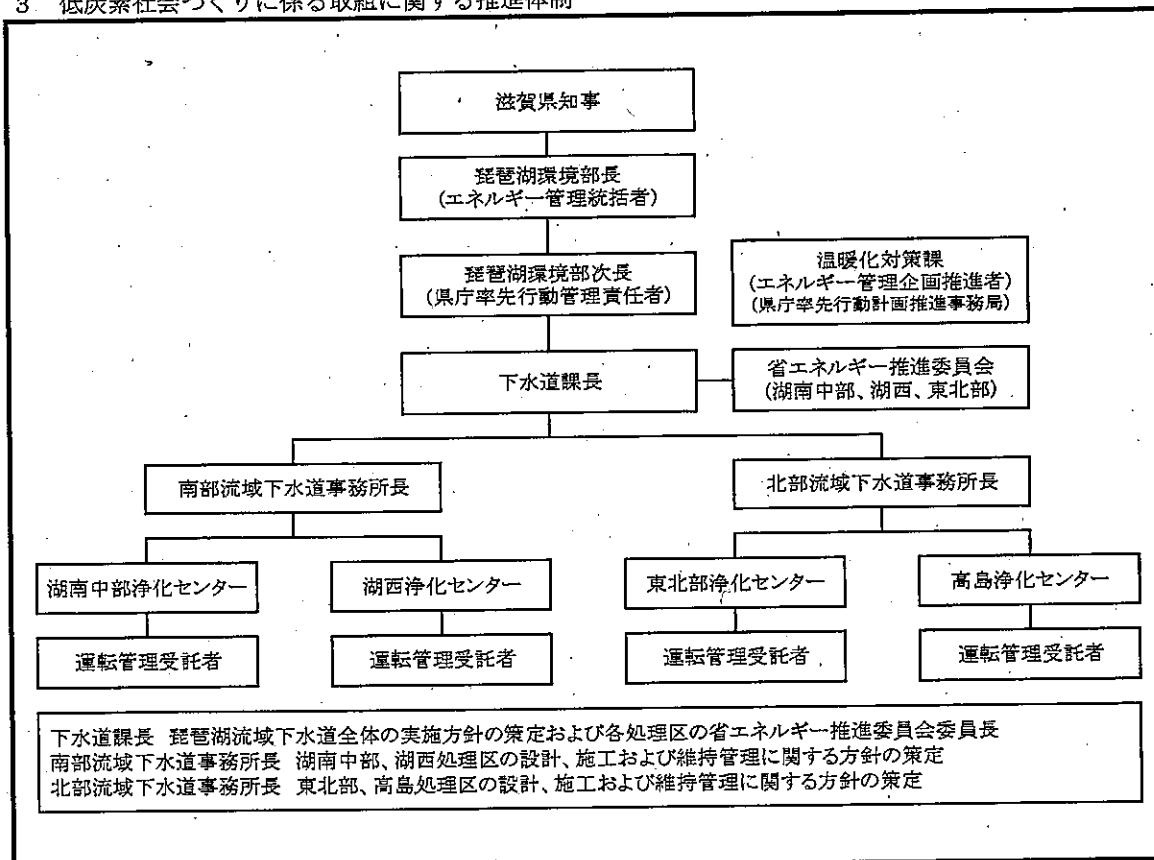
計 画 期 間	2018	年度	～	2022	年度
---------	------	----	---	------	----

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

琵琶湖流域下水道は、県民の快適な生活を支え、琵琶湖の水質保全に貢献すること等を目指して事業を行っていますが、下水処理には大きなエネルギーを要するため、県下の公共施設の中ではエネルギー消費量や温室効果ガス排出量が特に大きいという実態があります。このため、各施設の設計、施工、維持管理の各段階において、環境への配慮に努めることを基本とした取り組みを行います。具体的には、各浄化センターを拠点として、以下のとおり低炭素社会の構築に寄与していきます。

1. 環境負荷を最小限にする仕組みを作り、環境の保全と汚染の防止に取り組みます。
 - ①施設の設計にあたっては、温室効果ガス排出量を削減できるシステムの構築に努めます。
 - ②施設の施工および維持管理において、省エネルギー・省資源に取り組みます。
 - ③下水処理に伴い発生する汚泥をはじめとする廃棄物の削減と再資源化に取り組みます。
 - ④グリーン購入を積極的に推進します。
 - ⑤下水道施設の見学案内など環境学習活動の機会提供に取り組みます。
2. 下水道事業全般における環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に取り組みます。
3. 環境保全に関連する法規制を遵守します。
4. この方針を具現化し維持するとともに、関係する下水道職員全員に周知徹底します。
5. この方針を広く公開し、適切な情報提供に努めます。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

湖南中部浄化センターにおいては、平成11年に省エネ法によるエネルギー管理指定工場に指定されて以降、計画的に省エネルギー設備の導入や運転方法の見直し等により、省エネルギーに積極的に取り組んでいる。

■ 設備面での取組

- ・ ポンプ、ブロワへのインバータ回転数制御の採用
- ・ 生物反応槽攪拌機への槽外型定動力攪拌機の採用
- ・ 下水熱ヒートポンプシステムの導入
- ・ 太陽光発電システムの導入
- ・ 高効率脱水機の採用
- ・ 高効率2段焼却炉の採用

■ 運用面での取組

- ・ 水処理設備の一部間欠運転
- ・ 外灯の消灯ならびに間引点灯
- ・ 空調機、換気ファンの一部停止
- ・ 焼却溶融炉の脱水汚泥投入量最適化による補助燃料(都市ガス、灯油)の削減
- ・ 溶融炉の休止
- ・ 焼却炉補機設備(コンベヤ等)の間欠運転

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	生物反応槽攪拌機の更新時における槽外型低動力攪拌機の採用	2018～2022年度
2	設備導入対策	インバータ回転数制御方式採用によるポンプの運転効率化	2018～2022年度
3	設備導入対策	照明器具のLED化	2018～2022年度
4	運用改善対策	屋外照明の一部消灯や換気ファンの一部停止などこれまでの取組を継続	2018～2022年度
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1	一酸化二窒素	汚泥焼却炉における適性な温度管理を徹底し、排出抑制に努める。	2018～2022年度
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

<p>放流量当りの温室効果ガス排出量を年平均1%以上低減させる。</p>

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	グリーン購入	滋賀県庁におけるグリーン購入基本方針に基づき、必要数量を計画的に調達するとともにグリーン購入を実施する。	2018～2022年度
2	見学者への啓発	浄化センター見学者に対し、下水道の正しい使用法や節水について啓発を行う。	2018～2022年度
3			
4			
5			
6			
7			
8			